

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：0355507120

聖路加国際病院附属クリニック 消化器内科 小俣富美雄

【研究責任者】

聖路加国際病院附属クリニック 消化器内科 小俣富美雄

ピロリ菌の感染期間と胃粘膜の萎縮との関連について

1.研究の対象

2017年4月から2019年10月31日までに当施設で上部消化管内視鏡検査を受けた方
(おおよそ5000例)

2.研究の目的・方法

本研究の目的はピロリ菌感染の期間、及び除菌後の期間が胃粘膜萎縮に与える影響を明らかにすることです。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 年齢、性別、ピロリ感染の除菌歴、上部消化管内視鏡所見、内視鏡時の萎縮の所見、家族歴、カルテ番号 等

4.外部への試料・情報の提供

なし。

5.研究組織

当施設のみ。